

1. 貯蔵設備およびガス発生設備

(1) 知多地区

	知多LNG共同基地	東邦ガス(株) 知多緑浜工場	知多エル・エヌ・ジー(株) 知多LNG基地
LNGタンク	1,560千KL		
LNG気化器	<ul style="list-style-type: none"> ・能力： 1,032t/h ・種類： オープンラック式ガス発生設備 <li style="padding-left: 20px;">シェルアンドチューブ式ガス発生設備 <li style="padding-left: 20px;">サブマージド式ガス発生設備 		—

(2) 四日市地区

	東邦ガス(株) 四日市工場	(株)JERA 四日市LNGセンター
LNGタンク	480千KL	
LNG気化器	<ul style="list-style-type: none"> ・能力： 260t/h ・種類： オープンラック式ガス発生設備 <li style="padding-left: 20px;">サブマージド式ガス発生設備 	

2. 利用可能な船舶の種類および船型

(1) 知多地区

	モス型		メンブレン型
	従来型タンクカバー	連続型タンクカバー	
L1 棧橋	17万m ³ 級	18万m ³ 級	17万m ³ 級
L2 棧橋	17万m ³ 級	18万m ³ 級	26万m ³ 級

(2) 四日市地区

	モス型		メンブレン型
	従来型タンクカバー	連続型タンクカバー	
K9 棧橋	17万m ³ 級	18万m ³ 級	17万m ³ 級

(注) 船舶の受入可否の判断については、船陸整合性の確認を必要とし、確認結果により受け入れることができない場合があります。

3. 液化ガスの種類および品質

		知多地区	四日市地区
総発熱量		40~45MJ/m ³ N	43~45MJ/m ³ N
成分	メタン	84mol%以上	
	ブタン以上	2mol%以下	
	ペンタン以上	0.1mol%以下	
	窒素	1mol%以下	
その他		固形またはその他の不純物および異物を含まないこと	

(注1) 受け入れることができるLNGの品質は、個別の利用条件やタンク運用実態によって異なるため、上記の数値は目安とします。

(注2) 上記の数値を逸脱している場合など、LNGの受入は既存基地利用者との協議などを行っていただく必要があります。

4. 配船計画の策定期間の見通し

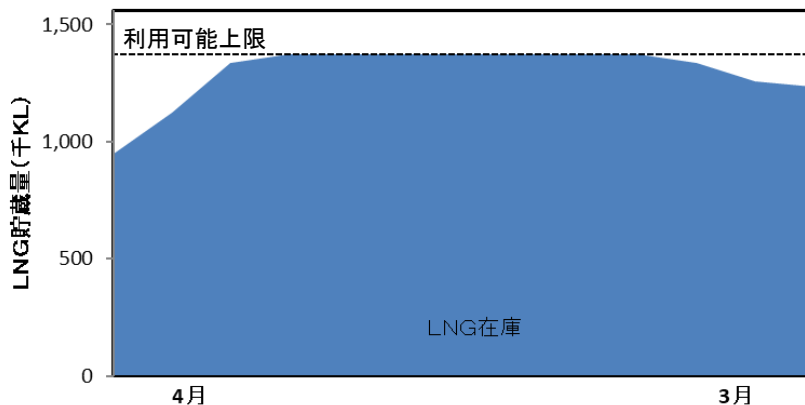
当年度の配船計画の策定スケジュールは概ね以下のとおりです。

- ・前年度7月頃 : LNG売主との間で配船協議を開始
- ・前年度12月~3月頃 : LNG売主との間で年間配船計画を策定

(注) 上記はおおよその策定スケジュールであり、具体的な配船計画策定スケジュールは様々なLNGプロジェクトによって異なります。

5. 液化ガス貯蔵設備における液化ガスの貯蔵の余力の見通し

(1) 知多地区



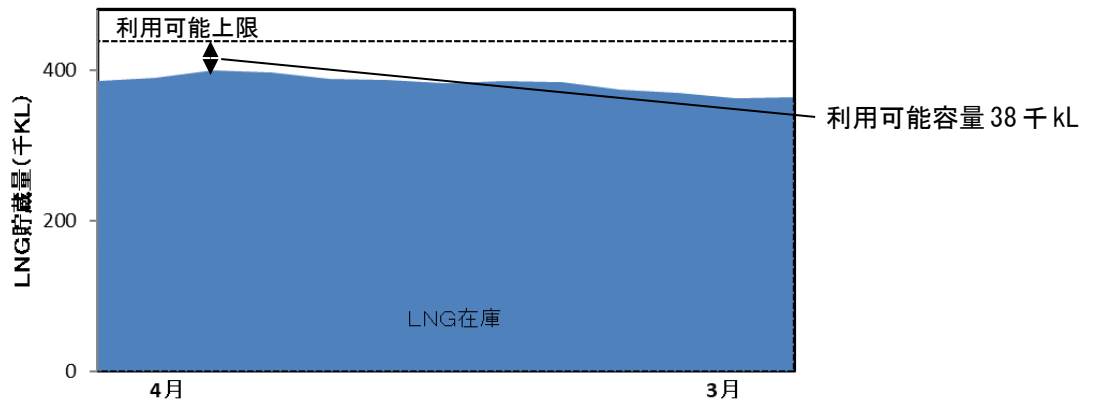
ルームレント方式では、一般的なLNG船1隻(約120千KL)を受け入れられるだけの余力はありません。

ルームシェア方式の場合、年間240千KL程度を受け入れられる見込みです。ただし、以下に示す条件での場合であり、それ以外の条件においてもご利用可能となる場合があります。

【利用可能量・受入量の算定条件】

- ・2024年度7月末時点での利用可能量・受入量であり、LNG船の受入状況、都市ガス・電力の需要動向および受入設備の工事などにより変動します。
- ・ルームシェア方式における利用可能受入量は、入船1回あたり120千KLを、年度終了後にLNG在庫が0となるように、6ヵ月の間一定の割合で払い出した場合の結果となります。また、高在庫が見込まれる期間は、当社などからLNG貸出を行い、高在庫期間後にLNGを受け入れ返却した場合の結果となります。

(2) 四日市地区



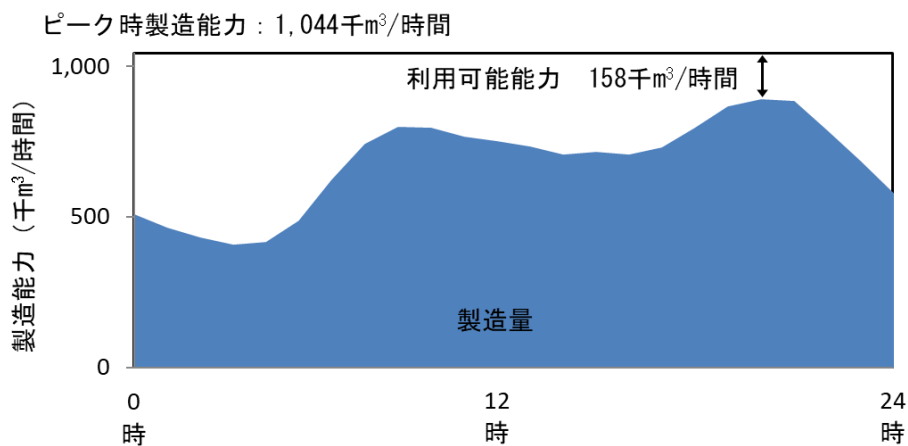
ルームレント方式では、一般的なLNG船1隻(約120千KL)を受け入れられるだけの余力はありません。

ルームシェア方式の場合、年間240千KL程度を受け入れられる見込みです。ただし、以下に示す条件での場合であり、それ以外の条件においてもご利用可能となる場合があります。

【利用可能量・受入量の算定条件】

- ・2024年度7月末時点での利用可能量・受入量であり、LNG船の受入状況、都市ガス・電力の需要動向および受入設備の工事などにより変動します。
- ・ルームシェア方式における利用可能受入量は、入船1回あたり120千KLを、年度終了後にLNG在庫が0となるように、6ヵ月の間一定の割合で払い出した場合の結果となります。また、高在庫が見込まれる期間は、当社などからLNG貸出を行い、高在庫期間後にLNGを受け入れ返却した場合の結果となります。

6. ガス発生設備におけるガスの製造の余力の見通し



(注) 上図は、最もガスを生産する日(ピーク日)におけるLNG気化余力をイメージで表したものであり、都市ガスの需要動向、予定外の設備工事などにより余力は変動します。

なお、製造の余力によらず、払出先の導管能力によって、利用可能な範囲が変わる可能性があります。

以上